令和元年　第十六期くまもと俳句ポスト

第十六期開函

　日本伝統俳句協会評議員　井芹　眞一郎　選

**特選**

夏草や無念の田原坂　　　　　　　　熊本県熊本市　　　 栁田　 孝裕

【講評】

　明治初期、政府の近代化に抗して士族の反乱が起こる。西郷隆盛（南州）を盟主

として官軍側との激戦が繰り広げられるが、特に田原坂での戦いはを極めた。

今でも毎年慰霊祭が行われている。

　掲句は「夏草」の季題をとおして日本国内最後の内戦が語られた。

**わが輩通り賞**

復活の城の　　　　　　　　 　熊本県熊本市 　　 野﨑　 一雄

**入選**

水音の細きを　　　　　　　　 熊本県熊本市　　　　 廣瀬　 守世

球磨川の船旅終へて秋惜しむ　　　　　　 熊本県熊本市　　　 山﨑　 綾子

漱石のしに秋日さす　　　　　　　 福岡県小郡市　　　　 中野 智津惠

**佳作**

晩秋の屋根重きの間　　　 　　　 熊本県熊本市　　　 　鶴田　 信吾

麦の芽の風の中なる父母の墓　　　　　　 熊本県熊本市　　　　 粟津　 玲子

楠の木陰の美少年　　　　　　　　 福岡県北九州市　 　仙波　 数海

田原坂のあとや冬隣　　　　　　　　　山梨県南都留郡西桂町　梶原　 真弓

武者返しふくらんでくるっ　　　　　 熊本県熊本市　　　　 佐藤　 誠吾

水清きや冬木の芽　　　　　　　　熊本県熊本市　　　　　坂口　美穂子

くまもんの郷里の山もへり　　　　　　長崎県諫早市　　　　　麻生　 勝行

春の日に君と歩いた田原坂　　　　　　 　熊本県宇土市　　　　 佐藤 未和子

落ち葉ちる赤や黄色がうつくしい　　　　 熊本県熊本市 くろだ りく

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 投句総数　　百四十六句

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 市外　　　　　　　百句

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 市内　　　　　四十六句

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 開函日　令和元年十二月三十一日